

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第46週 (11/14-11/20) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		46週	45週	44週	43週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	27	28	27	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千		葉		市		千葉県
		注意報	11/14-11/20	11/7-11/13	10/31-11/6	10/24-10/30	11/7-11/13	
			46週	45週	44週	43週	45週	
小児科	RSウイルス感染症		3 0.17	4 0.22	8 0.44	9 0.50	63 0.47	
	咽頭結膜熱		1 0.06	0 0.00	2 0.11	0 0.00	19 0.14	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34 1.89	43 2.39	33 1.83	30 1.67	424 3.14	
	感染性胃腸炎	○	294 16.33	185 10.28	124 6.89	116 6.44	1,399 10.36	
	水痘		11 0.61	3 0.17	7 0.39	4 0.22	70 0.52	
	手足口病		19 1.06	17 0.94	26 1.44	41 2.28	189 1.40	
	伝染性紅斑		0 0.00	2 0.11	0 0.00	2 0.11	18 0.13	
	突発性発しん		11 0.61	9 0.50	10 0.56	9 0.50	53 0.39	
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02	
	ヘルパンギーナ		2 0.11	7 0.39	3 0.17	4 0.22	24 0.18	
	流行性耳下腺炎		8 0.44	8 0.44	3 0.17	6 0.33	79 0.59	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフル エンザを除く)		17 0.63	16 0.57	6 0.22	6 0.21	172 0.80	
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03	
	流行性角結膜炎		1 0.20	2 0.40	4 0.80	2 0.40	25 0.74	
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.44	
	無菌性髄膜炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	2 2.00	2 2.00	3 3.00	20 2.22	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	病原体の検出等	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症	男性	70歳代	細菌の検出、薬剤耐性 の 確認及び起因菌の判定
結核	男性	60歳代	病原体等の検出				
結核	女性	20歳代	IGRA検査	急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	40歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎 球菌感染報	男性	70歳代	病原体等の検出等
結核	女性	80歳代	病原体等の検出等				

・第46週は、結核5件(216)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(11)、
急性脳炎1件(29)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(26)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第46週のコメント

＜感染性胃腸炎＞前週より増加し16.33となった。過去10年の同時期と比べると最多

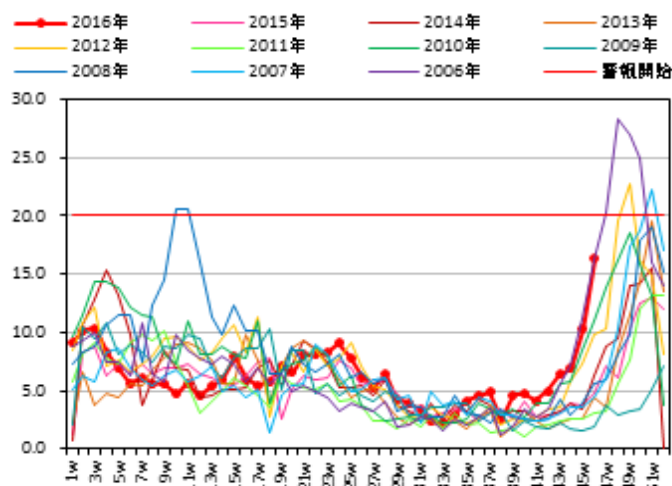
■ トピック ■

< 感染性胃腸炎 >

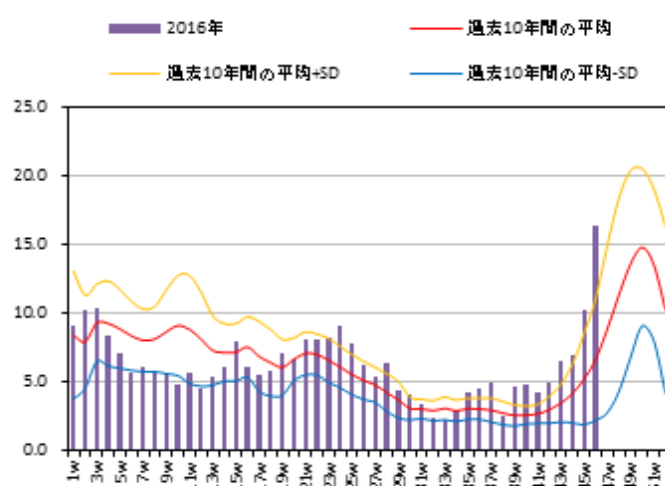
全国レベルの第45週は過去9年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、広島県、三重県、奈良県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の第46週は、前週より増加し16.33となりました。過去10年の同時期と比べると、最も多かった2006年と並び最多となっています。区別の発生状況は、若葉区(27.0/定点)で流行発生警報開始基準値(20.0/定点)を上回り最多となっており、同区の1歳及び3歳～5歳で多く発生報告がありました。また、稲毛区(23.7/定点)でも流行発生警報開始基準値を上回っています。

今シーズンである2016年第36週から第46週までの累積報告数(n=1248)によると、性別では男性が55.5%(693名)、女性が44.5%(555名)で、年齢階級別では1歳(15.6%:195名)、4歳(12.9%:161名)、2歳(10.4%:130名)の順に多くなっています。

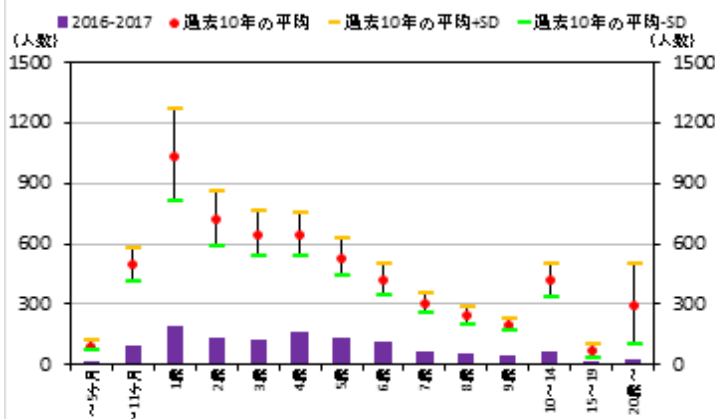
定点当たりの報告数



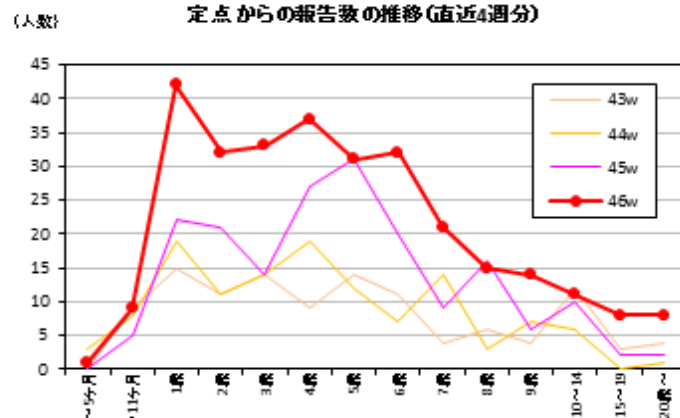
定点当たり報告数の比較



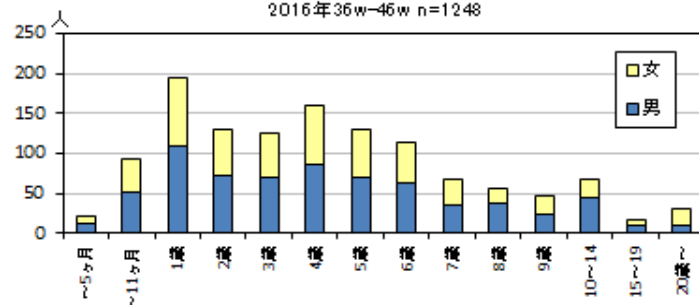
報告数の比較(2016年36w-2017年35w)



定点からの報告数の推移(直近4週分)



定点からの累積報告数
2016年36w-46w n=1248



区別の定点当たり報告数の推移(直近4週間)

